

縄文杉



写真協力：(社)鹿児島県観光連盟

## 「屋久島」 太古の息吹を肌で感じる自然の宝庫で 今年も天体ショーも観測可能

国内の陸地で観測されるのは実に46年ぶり、次に見られるのが26年後と聞けば、天文ファンならずとも、ぜひ見ておきたい皆既日食。7月22日（水）午前11時前から数分間、ビッグな天体ショーが見られるスポットとしても熱い注目を集めているのが、鹿児島県の屋久島です。

1993年、白神山地とともに国内初の世界自然遺産として登録された屋久島は、九州本土の南端、佐多岬より70kmほど南に位置しています。周囲約130kmの島内のまん中には、九州一の高さを誇る宮之浦岳（1,936m）をはじめ、1,000メートルを超える山が40数峰も連なり、「洋上アルプス」と称されています。

海岸ではガジュマルが南国的な景観をつくりだす一方、冬の山頂には雪が降り積もります。また、林芙美子の小説『浮雲』で「ひと月に35日雨が降る」と表現されるほど、多くの雨が降ります。この大量の雨が、屋久島の豊かな自然を育むのです。

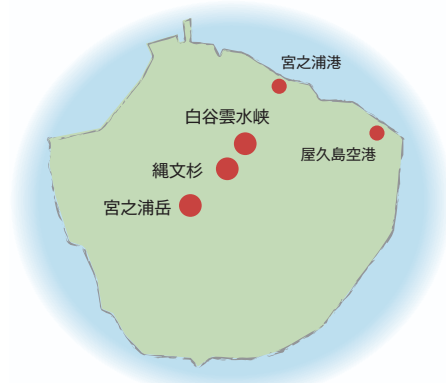
多様な生態系の中でも特に有名なのが「屋久杉」。世界自然遺産の登録にあたっては、日本固有の「杉」の生態系の最良の地域となっている点も評価されました。樹齢7200年との説もある「縄文杉」は、保護のために15mほど離れた展望デッキからしか見ることはできませんが、島内には「紀元杉」「弥生杉」「翁杉」など樹齢数千年の巨木が多く残されています。「屋久杉」と呼べる樹齢1000年以上の杉のほか、樹齢数百年の「小杉」や若い杉も次々に育ち、世代交代が繰り返され、森林が生き続けているのです。

このような自然を舞台に人気が高い登山やトレッキングには、いくつかのコースがあって、滞在時間と体力に応じ

て選ぶことができます。

弥生杉など屋久杉の原生林を見ることができる「白谷雲水峡」のコースは、30分、60分、2時間半の3つ。原生林の中を流れる白谷川の清流、重なりあった巨石、切り立った溪谷などが広がり、足元はシダやコケ類で覆われ、季節によっては川岸のサツキやサクラツツジが花をそえるなど、庭園を思わせる美しさを堪能することができます。なお、白谷雲水峡の上流域は、映画『もののけ姫』のモデルとなった場所と言われています。

太古の息吹を肌で感じる屋久島で、マイナスイオンを体いっぱい浴びれば、日常のストレスも一気に消えてしまいうそうです。



### 【アクセス】

鹿児島 → 屋久島

●飛行機……30分 ●高速船……2時間30分 ●フェリー……4時間

参考：「屋久島町」「社団法人 屋久島観光協会」「屋久島町立屋久杉自然館」「鹿児島県総合観光サイト」の各ホームページ